



刊行日 九月十一日

農村に就いて

如何に生きて行くか？
荻谷明尾

世界的農業恐慌の嵐が必だ
然に日本の農村を、その渦
中に加へてある現在、農
民大衆の貧窮は眞に言語に
絶してゐる、私は十年の農
民運動を通じて、農民運
動の進む一兵卒として生
活の苦しさを何の誇張も
なくそのまゝ書いて見
たい。――

(101) 土生太郎作
高根秀浩書

幕末神風組
その頃、漸く酒宴の支度
それは一同の胸底に二

潮聲

静かな時雨、冬晴、ストーブ

いつしか時雨の家並灯りけり
時雨とな空となりけり新雪を割る
冬晴の海や遠望の岬かな
ストーブの外は夜風吹くしきり
自動車の燈火入りぬ夜時雨
水車小屋見わたる雨時雨けり
横雲のかすかに飛ぶや冬日和
ストーブの光りけり交替時

今までの首領の意気地
なき女性に心を奪はれて大
義を省みぬか見えぬ、御
木本の墮落をなげき愛へて
わた連中も俄然！活力を呈
して来た

顔が捕まると、御木本は一
同をくつと見廻しながら口
を切つた
「今日一件だが...近藤
は夢にも存せなかつたが...
左様、京洛の大激戦によ
うも命を完了したものだ」
「それでだ、各々も知つて
の通り浅野一人でも、我々
にはかなりの重荷であつた
その上に近藤勇だ、彼等
が手を組んで事に當れば
直に酒宴を張るが幾らも
取つて都合な言葉ではな



「何しろ、勤王方に取つて
の強敵は新撰組の近藤と根
本配下の浅野だ、この二人
だけは如何な犠牲を拂つて
も打たされたならばならぬ！」

第一に吾々の経験した
狂ひ心を叩きのめした血
世の中だ。反対に都會へ
出て来た。淫靡な浮世を
見れば、羨望が湧いて全
部焦る。――

労働の報酬が踏付けられ
た、一貫目で生産費の半分
を、――

秋、眼鏡、珠數石温尿瓶
孫の手
四、くどくどなる氣短かにな
る。――

五、時代及び教育の
相違
然らば姑には普通どの位
の命令から申しますと少くも二
居るのでありますから、自
居るのでありますから、自
居るのでありますから、自

三) 民政、政友両黨大
會開かる△上海で邦人青
年と支那人衝突(同七)
日本農林組合全國大會を
東京で開催(同八)

「容易な業ではない、それ
はよく判つてゐる。ひよつ
とすると我々の手に及ば
ぬかも知れぬ」
「敬し難い、敬し難い。知
つてそれを避けるのは武士
の恥だ、死んでも尙戦ふよ！
これが我々の精神でなければ
ならぬ。勿論一死をもつ
て一天萬樂の大君に奉公を
誓つた我々だ、何れ死を恐
る、其處は人間である以上
誰とて好んで死を求める奴
はない、ならば事なら死な
ういでい、子にならな
いよ、――」

「だが...」
「だが...」
「だが...」

防室メリヤス

専賣特許メリヤス
防虫加工純毛メリヤス...
防虫加工...
防虫加工...
防虫加工...

院醫科性胃腸村松

内科 胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科

弊店自慢の衛生上最良

光輝ある釜めし
御同伴歓迎...
田井親子、各二十銭
田町實川病院裏
あけの
電話二八二番

上田醫院

入院隨意(自炊の便あり)
外科 泌尿科
内科 皮膚科
小児科 眼科

吸入用酸素

モノサシ
マノス
ハカリ

平牛乳舎

品質第一
電話二六八番
平町・九品寺前

大和田醫院

耳鼻咽喉科 専門
大和田郡司
電話二〇七番

伊坂電療院

頭痛、神経痛及麻痺、リウマチス、關節炎、ゼ
ンタク、百日咳、胃腸病、氣管支炎、中耳炎
扁桃腺炎、腎臓炎、蓄膿症、アレルギー
動脈硬化症、カリニシ、乳乳不足、乳腺炎、白黒
ソノヒ、カガコリ、ウチミ、クシキ、手足シビレ
腰痛、痔疾、淋病、其他

一、織がよ、ほころが出来る
二、手はふるふ足はひよら
三、一、手にふるふ足はひよら
二、手にふるふ足はひよら
三、一、手にふるふ足はひよら

女子労働者講習會
古河人車係長
前松佐嘉述

社員招聘

一、集金取組係 五名
二、見習社員 二名
三、シシガイ裁縫
機械會社支店

